桜ヶ丘だより

第30号
発行所
関高等学校同窓会
岐阜県関市桜ヶ丘2丁目
郵便番号501-3903
電話(0575)22-5688
FAX(0575)23-7089

〈校訓〉
練磨　至誠　進取

平成十年度 関高等学校同窓会総会開かれる

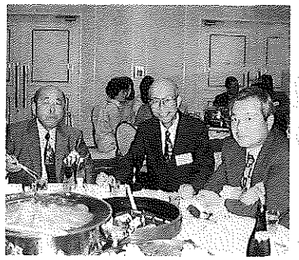
今年は初の試みとして、同窓会総会開催の案内を、中日新聞・中濃新聞紙上に掲載しました。ご覧になった方も多いと思います。

五月三十一日、関平安殿において約一三〇名の会員のご出席を得て、賑々しく開かれた総会の経過を、以下簡単にご報告します。

広瀬恒行会長からは、「同窓生が多方面で活躍し、頼もしい限りである」と、政治・芸術等で功績ある会員の紹介の後に、創立八十周年記念事業として同窓会会員名簿を発行するので、それを同窓生間の情報交換の場として利用してほしいとの挨拶がありました。

新しく転任された村瀬辰美校長からは、「教育とは知識のみならず心の教育こそ大切である。関高の生徒が、将来社会のリーダーとなるべく、創造力・行動力ある人間の育成に努めることが、我々教員の使命である」との、熱い思いが語られました。

続いて、昨年度の事業報告、会計報告、監査報告が行われ、新役員選出も滞りなく進み、会長には引き続き広瀬会長が就任されることになりました。



今年度の事業計画、予算案も、満場一致で了承され、和やかな雰囲気の中で総会は終了しました。

特筆すべきは、総会出席者中の最高齢者安田富士子先生（高女5回）と今年三月卒業の西薗早紀さん（高50回）が一緒にお並びになり、改めて同窓会の歴史の重厚さを示されたことです。現在地へ移転した折の苦労話を語られる安田先生のお話は、しみじみと胸に迫りました。関高校よ永遠なれ、という言葉で報告を終わります。（薫田　泰子）

同窓会新役員紹介

会長　広瀬　恒行（高6）
副会長　奥田　正子（女16）
〃　佐藤　益子（女20）
〃　坂井　敏明（高7）
〃　宮川　治（高9）
〃　山田登美子（高9）
〃　福井　寛悦（高11）
〃　清水　公男（高12）
〃　山田　武司（高13）
〃　長谷川勝彦（高15）
〃　井上　博文（高16）
〃　青木　誠（高18）
〃　平田　章（高24）
〃　浅野欽一郎（高29）
会計監査　山田加代子（高8）
〃　加藤　洋子（高13）

東京支部総会が9月26日(土)開催されます。

東京支部会では、第8回総会懇親会を9月26日に日暮里駅前のホテルラングウッドにて12時より開催します。一人でも多くの新しい同窓生の方のご参加をお待ちしています。詳細は同窓会本部、又は東京支部長酒向孝夫(高3回)・東葛飾郡沼南町大井一八四九の一、田口美男(高8回)・浦安市今川四の十二の九、酒向克美(高9回)・北葛飾郡庄和町米島一七五五まで連絡を！

「安桜会」総会を開催

関高校出身の岐阜県職員で構成する「安桜会」が発足して十年目を迎えます。会員は、現在二一〇名を数え、県職員の中でも大規模な同窓会となりました。「安桜会」は会員相互の交流親睦と岐阜県発展への寄与を目的に発会し、毎年総会ならびに懇談会を開催しております。

去る二月二十日に岐阜市の「華陽ホテル」において、知事代理として藤田出納長（同会顧問高7回）、保井関高校長・広瀬同窓会長（同会名誉顧問）、伊佐地（高12回）・尾藤（高16回）両県議（同会名誉顧問）、加藤下呂病院長（同会顧問高3回）に出席いただき平成九年度の総会を盛大に開催することができました。今回は特に安桜会が関高校同窓会の支部として承認していただいた最初の総会でもあり、同窓会とも連携をとりながら、活動を積極的に展開していく出発点となりました。今後とも、より一層の交流を深め、会員一丸となって岐阜県発展のために邁進する所存です。

関高校の益々の御発展を祈念します。（会長　吉田　徹）

恩師亀山むつ先生を訪ねて

高女20回　佐藤益子

早々と咲いた桜の花がいつになく長持ちして、そろそろ舞い終わる四月十四・五日、岐阜在住の人たちのお世話で二十八名が山中温泉に集い、恒例のむげつ会がもたれ、みな身も心もすっかりリフレッシュしました。

その語らいの中で、二十年前の那谷寺行きが思い出され「あの頃は先生もお元気で、坂も石段も私たちと同じに歩き通されたものね」と亀山先生が一人懐かしくて、しばらく御無沙汰している寿和苑へ、三輪雅子さんと山田和子さんに車をお願いして、四月二十三日竹森・松村・佐藤の五人で伺う事にしました。

秋には満百二才になられる先生は、さすがに車椅子を使われ、髪もうすくなられましたが、持参した写真も眼鏡なしでおわかりになり、耳も記憶も確かで、土産の湯呑をお渡しすると「そこへ置くと取りにくいからここ（枕の横）に、のし紙（むげつ会一同と書いてある）は字が見える様に折って箱の中へ」と仰る。車椅子にお乗せすると、膝掛を「半分に折って……そう、少し長短に。小さいタオルも同じ様に折ってここに…」と指示なさり「昔の先生のまゝね」とうなずき合い、七十才過ぎても私たちはやはり教え子なんだなと、甘えさえ覚えたものでした。

ほんの三～四十分でしたが、お疲れになっては……と、先生を苑内のティータイムにお連れしたのち、ヘルパーさんに託して辞しました。

帰路、素朴な喫茶店で思いの外においしいコーヒーをのみながら、数日前のむげつ会で、お互いのボケを確認し合って奇妙な安心感を抱いて帰った五人が、先生のお確かさと思い比べて苦笑し、それでも、喜んで下さった先生の笑顔を心に温めて、何やら満ち足りた思いで帰って来たのでした。

＊

先生の御住所は左記の通りです。

武芸川町跡部一五五五―一
TEL〈〇五七五〉四六―一二六一
「寿和苑」
レンガ色の大きな建物です。

卒業生の進路状況

進路指導部長　佐藤　和良

今春は三五九名が卒業しました。進学三一〇名、就職三名、再受験者四六名という進路状況でした。

再受験者四六名という進路状況でした。

経済状況は好転せず、学費を考えての国公立人気、就職を考えての理系人気は昨年と変わらず、受験人口は減少しながらも、相変わらず厳しい状況が続いています。

入学先で見ますと、国公立大九三名、私立大一六〇名、国公立短大一三名、私立短大二四名、専門学校二〇名。

合格延べ数では、国公立大一一六名、私立大六〇九名、国公立短大三二名、私立短大六五名、専門学校など三六名でした。難関校・中堅校では、北大一、東北大一、筑波大二、東大一、名大一〇、金沢大七、岐阜大三二、京大一、早稲田三、慶応四、同志社九と、ほぼ例年並みでした。よく健闘したと言えます。

同窓会委員の紹介

高校五十回生
（平成十年三月卒業）

1組　早川啓介
　　島田裕子
2組　松田佳樹
　　林憂子
3組　平田純久
　　須田恵子
4組　間宮立朗
　　鈴木愛香
5組　◎渡辺健太郎
　　小澤希代江
6組　直井将人
　　井戸麻美子
7組　河村健太郎
　　◎西薗早紀
8組　伊藤裕之
　　重光宏美
9組　粟倉晋吾
　　後藤恵子

◎印は幹事

おくやみ

勝見　恒先生
平成九年十一月御逝去
ご冥福をお祈りします。

平成九年度 同窓職員異動

〔転出〕
養護教諭　小塩　美陽（高22回）
関養護学校へ

〔転入〕
教諭（家）　林　智子（高30回）
岐阜三田高校より

事務局だより

▼次回の会員名簿発行は、平成十二年です。発行所等具体的なことはまだ何も決まっていません。電話での調査は、事務局とは関係ありません。

▼今年は通常会費二千円納入の年です。「桜ヶ丘だより」とともに振込用紙を同封いたしましたので、どうかよろしくお願いします。

▼暑さ厳しき折、会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。同窓会便り、海外便りなど原稿をお寄せ下されば幸いです。

会報委員

佐藤多美子　高女24回
村井　利衛　高女25回
梅田　洋子　高11回
高井奈津子　高14回
金子　満　高15回
平田　和子　高16回